

第1回学校関係者評価委員会報告

日 時 令和2年3月26日（月） 午後6時30分～同7時00分

場 所 秋田県歯科医療専門学校 1階「教室」

出席者（外部委員）今野技工士会会長、甫仮衛生士会会長、
古谷秋露会会長、杉田前学校担当役員

（内部委員）藤原会長、鈴木専務理事

（学校関係者）星野校長、佐々木副校長、大淵教務部長、玉木理事、
吉田科長、金山教務、菊地教務、菅原教務、石塚教務、
大川局長、鈴木

1. 開 会

2. 挨拶

藤原会長から出席委員に対する感謝が述べられた後、星野校長から本委員会の設置目的等について説明があり、本年4月からの高等教育の修学支援の新制度に伴い新たに設けた委員会であり、その要件として、校内での自己評価を実施し、その結果を受けて、関連業界等の関係者を交えた中で、本委員会を行うものである旨、説明された。

3. 委員紹介

4. 報 告

星野校長から、先に開催された「自己評価委員会」の報告として、今年度の重点目標に掲げる「国家試験合格率」や「県内就職率」、「推薦入試応募者数」といった評価結果について資料に基づき、報告された。

また、49項目別の「学校評価」自己評価集計結果は、ほぼAの評価であったものの、「退学率の低減」は、理由の把握に努め、ドロップアウトしない体制づくりを行う必要があるといった指摘がなされたことや、「財政基盤の安定」のためにも、まずは学生募集に取り組む必要がある旨、指摘があったこと等が報告された。

この他、講師自身の課題を見出すために行っている、学生による授業評価のまとめについては、講師会での意見を受け、数字だけの評価に加え、記述形式による具体的な記載も加え、講師陣に配布したことが報告された。

5. 協 議

以上の報告事項を踏まえて協議の結果、財政基盤の安定や学校の運営面や体制づくり等、全ては学生確保に繋がっており、その学生の確保の手段として、学校見学会へ

の参加が入学に結び付いていることから、見学会への参加者の増加に努めることや、SNS を活用した情報発信、高校生のみならず、小・中学生向けの歯科衛生士の職業 PR や、秋田市においては中学生を対象とした学校訪問の企画といったことが提言された。

また、教務の授業評価の実施についても、今後、検討することが確認された。

6. その他

出席委員から、今回の奨学金の新制度に関し、新入生及び在校生の申請状況について質問があったほか、他校での評価方法といった情報収集をお願いしたい旨、述べられた。

最後に、次年度については、年 3 回を予定している旨、説明があった。

7. 閉 会